

令和7年度 第2回 議会報告・意見交換会の概要報告

41名の皆さんにお集まりいただき、4地区におきまして有意義な話し合いができたことに感謝申し上げます。
各地区毎に主な話題をとりまとめましたのでご覧ください。

睦合地区

日 時 令和7年11月5日(水) 18:30
場 所 睦合公民館 参加者 7名 議員10名

●主な話題（有害鳥獣・クマ対策）

●クマが出ない地域との比較

宮城県では出没が少ない理由を調べるべきとの意見

里山管理（藪の刈払い）が行き届いている地域では出没が抑えられている事例が紹介される。

一部地域では情報提供そのものが少ない可能性も指摘

●クマの生息状況

R2調査で福島県全域は約4,425～5,000頭

桑折町として明確な頭数は不明だが、今年は出没件数が多いとの認識を共有

●地域の現状と課題

20年前はクマが「珍しい話題」だったが、近年は生活圏に出没

荒れ地・放置された柿の木・クルミが誘因になっているという意見

原発事故後に山に入る人が減ったことが要因ではないかとの指摘

●猟友会

定員20名に対し現在19名。若手不足が深刻

クマはイノシシ以上に対応が難しく、発砲制限（5発→3発）も影響

箱罠は20台あるが、「倍にしても難しいのでは」との意見

佐藤 武郎 議員によるまとめ

令和7年11月5日(水)睦合地区で開催された議会報告会・意見交換会の報告をいたします。開催内容は、予定通り議会活動全般、とくに9月定例会の内容について議長より説明がありました。

また、今回の意見交換会は、地区の課題を設定し、睦合地区では、連日報道されている熊対策についての意見交換を実施した。参加者からは他県の情報とか、地域の現状について意見を頂いた。議会からは、町が取り組む予定の放任果樹（特に柿）の伐採について、予算を計上して早急に対応する旨を報告しました。

●地域での対応

町内会が中心となり、伐採する木のチェックを進めている。

12月議会で予算措置予定。町としても伐採場所の提出を求めている。

地域間の負担差については「10町内会だけで対応するのは不公平」との声

過去に町が依頼した際は「事故の際の補償問題」が課題に

クリーン作戦で呼びかけたが、参加者は2名のみという現状も共有、今回10町内だけでも今回はやるしかない。今は柿の木を切る。

■まとめ

睦合地区の報告会では、町全体で向き合うべき有害鳥獣対策が中心テーマとなり、地域の危機感と具体的な改善案が多数出されました。特に、①里山管理（草刈り・伐採）②放置果樹・クルミ等の処理③猟友会の担い手育成④地域負担の公平性が重要課題として浮き彫りになりました。

議会として、いただいたご意見を踏まえ、町と連携し安全な生活環境づくりを進めてまいります。



桑折地区

日 時 令和7年11月4日(火) 18:30
場 所 桑折公民館 参加者 12名 議員11名

●主な話題

●空き家・空き店舗について

「更地にすると固定資産税が上がる」→建物を建て替えれば問題なしとの説明

空き家が防犯や鳥獣被害につながる懸念
まちづくりネット法人化により相談体制が強化、相続問題が最大の障害

補助金 西会津町はリフォーム補助最大100万円、桑折町は最大50万円

国見町では町営住宅を若者の移住用に再活用

防犯カメラ設置については「プライバシーの課題あるが、検討すべき」との意見

●有害鳥獣対策（アーバンベア等）について

根本対策として柿木の除去・草刈りなど、隠れ場所をつくらないことが重要。

緩衝帯（見通しをよくする帯状整備）について質問あり。

猟友会の高齢化が課題。「町と協議し担い手増加を」との声。

クマはイノシシと異なり対応が難しい。睦合・半田地区で特に深刻。

クマ撃退スプレー配布案：「逆風で自分にかかる危険」など慎重意見も。

ボランティアによる草刈り活動の提案。
クマの生息数は県管理計画（R2）で約4,000～7,000頭。

箱罠は現在20基。増設を求める意見あり。

個人提案：「縦に杭を打ち進入防止」「柿木一斉伐採」など。

●再エネ（メガソーラー）に関する意見

「土砂災害リスクや景観の悪化が心配」との声。

条例により、景観・災害の恐れがある計画は町長許可制に。

町としても自然破壊につながる事業は認めない方針。

■まとめ

今回の報告会では、空き家対策：相続問題・防犯・活用策・補助制度・クマ（アーバンベア）対策：環境整備・猟友会の担い手確保・罠増設・若い世代の転入増・町の財政動向など、町の将来に直結する重要な課題について活発な意見交換が行われました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に反映してまいります。

齊藤 謙 議員によるまとめ

出席者少数ながらも多種多様なご意見・ご要望を頂いた。

【定住移住の件について】

- ・もっと分かりやすく住民に制度等の情報を提供すべきである。制度の問題等。広報に関する問題で今後の検討・研究すべきものであった。

【まちづくりへの要望等について】

- ・熊対策について、猟友会はどうなっているのか。定住移住対策として、何故、空き家が増えているのか、もっと有効に活用できないのか、町内に防犯カメラの設置をすべきでないか。
- ・決算で教育費が前年度比増加しているのは何故か。交流センターの設計費等はいくらか、当町のメガソーラーの計画はどのようになっているのか等

伊達崎地区

日 時 令和7年11月7日(金) 18:30
場 所 伊達崎公民館 参加者 9名 議員10名

●住民との意見交換

●諸課題

○66億円と63億円の差額3億円はどうなったのか。

繰越金について説明。翌年度に補正予算として活用する場合もあるが、できるだけ当年度で執行するよう議会からも指摘している。

○昭和大橋と伊達崎橋の間の河川敷にゴミが多い。安全面は大丈夫か。

町も国へ要望を行っており、改善を求めていく。

○空き家はどれほど把握しているのか。シルバー人材センターが草刈りに対応している。

町づくりネットが対応していると聞いている。件数は大きく増えていない。

○防災訓練だけがが発生し、保険対応が混乱した。除雪作業は今年どうするのか。

住民・民生委員・行政委員が協力して対応していく必要がある。

●熊対策

熊の出没が大きな問題になっているが現状は。

テープを巻いた木の伐採など対策を進めている。今日も出没があった。

ドローンや柵の話が出ていたが、ライフル使用はどうか。

ライフルは厳しい。産業厚生常任委員

会での説明では、今年特に多いわけではない。11月中旬までに伐採を進め、12月補正で対応する予定。

県の専門家に相談し、スプレー缶の配布や敷刈りなどを要望している。県補助金の活用で自治体判断による駆除も可能。

●小中学校の再編

あり方検討委員会を地区自治協議会が説明会で扱うのは適切か。

委員会から提案があり、町当局に示され、その後議会に届く流れ。現時点では議会は判断できない。

■まとめ

住民の皆さんにご参加いただきました。決算のポイントや主要事業の進捗、防災対策、熊の出没への対応、小中学校のあり方など、町政の将来に関わる重要なテーマについて、議会と住民の間で活発な意見交換が行われました。



川村 滋道 議員によるまとめ

注目する話題では自治協議会の責任者の方から降雪対策で「今まで社協依頼でシルバーが一人暮らしの方々の周辺の除雪を行っていた。

しかし高齢化の影響でシルバーでは受託できないとなり、今年の対策が見えない。町として早急に解決の為の対策を行って頂きたい」と指摘がありました。昨今の高齢者の1人暮らし問題は町では災害時に該当者を見守る対策はあるが除雪対策には届いていない。今年の冬は寒いとの予想を考えると伊達崎地域だけでなく全町的に早急な対策と準備が必要と思いました。

半田地区

日 時 令和7年11月6日(木) 18:30
場 所 半田公民館 参加者 13名 議員10名

●主な話題 (有害鳥獣・クマ対策)

参加者と議員の間で活発な意見が交わされました。

●主な意見・情報

近年、果樹園への熊・猿の出没が増加。町に「やぶの整備」を強く求める意見

熊の捕獲頭数：今年4頭、昨年5頭

「エサとなる果樹を放置しないことが重要」との説明

果樹の伐採、やぶの管理、早期通報の徹底が必要

赤外線ドローンの活用提案

半田沼での花火による追い払いについて意見

ジビ工対策のための国・県の制度活用を求める声

「町職員にドローン操縦者を育成すべき」「議員も資格取得を検討しては」という意見も

高速道路周辺の獣害対策、耕作放棄地問題の指摘

農地法の見直しが獣害対策の障壁になっているとの指摘

特別委員会の設置を求める意見（松夫議員）

「3m程度の防護柵を検討すべき」という提案もありました

■その他 (教育・行政運営に関する意見)

●情報公開への姿勢

「町に質問しても回答があいまいな場合がある」との住民意見

「条例に基づき適切に情報公開請求を行うべき」と回答

●小中学校の再編に関する意見

「小中一貫教育が先にありきで進んでいいのではないか」との懸念

議長：「提案が示された段階で、議会としてしっかり判断する」

■まとめ

今回の報告会では、決算説明から公共施設の課題、熊対策、教育行政まで幅広いテーマで意見交換が行われました。

特に熊対策では、地域の安全確保のために行政・町内会・議員が連携して対策を進める必要性が強調されました。

議会では、皆様から頂いたご意見を今後の政策判断や提案に活かしていきます。



鈴木 隆志 議員によるまとめ

令和6年度決算報告を中心に、こおりまち議会だよりに沿って説明、補正予算についての質疑がなされた。

意見交換については、半田地区として、有害鳥獣対策、クマ出没対策を中心に、半田地区でのクマ出没状況、半田・睦合地区10町内会に対しての柿木伐採希望者の取りまとめ、花火、爆竹、クマスプレー支給の要望、防護柵設置、ドローンを利用しての監視等について意見交換が行われた。

有害鳥獣対策以外でも、町情報公開のあり方、小中学校あり方検討委員会について多くの意見があり、開催終了予定時刻を延長しての意見交換会となった。